



樹木いきいき講座 <その20> 3班 藤原満男



～マムシの話～

隣の田植えの2日後、梅雨入りの日。レタスを収穫中にマムシが居たとの一報。近所の人、火バサミで生け捕りにして焼酎に浸ける。私はこれまで刈払機でやつつけたり棒で叩いた。今回は高枝切り鋏で頭に近い所をつまんで川に流した。

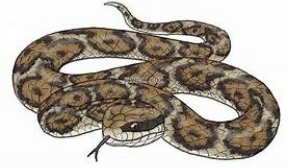
他の蛇は頭から尻尾まで同じ太さで一本の線のように見える。だがマムシは胴が太く短い、灰色から赤色の銭形模様。

待ち伏せ型なので、あまり動き回らない。他の蛇は近づくと逃げることが多いが、マムシはじっとしているので踏んでしまうこともある。

活動期は4月から10月。
晩春と初秋にピークがある。
水辺や湿った所を好む。

見つけたら刺激しないで遠巻きに通り過ぎる。咬まれたら口を使わず絞り出す。毒が急激に回ることはないので、あわてず身体を激しく動かさず、医者の治療を受ける。

予防としては、長靴を履く、作業するところを棒で探り出す、用心深く見る。



日本には、約50種類のヘビが生息していますが、沖縄などの南西諸島を除く、北海道から九州に生息するヘビは8種類のみ。ヘビの種類は「アオダイショウ、シマヘビ、ジムグリ、シロマダラ、ヤマカガシ、ヒバカリ、タカチホヘビ、マムシ」。特に注意が必要なのは有毒の「マムシ」と「ヤマカガシ」。**マムシ**は体長40～65㎝で太い姿が特徴的。頭は先端が尖った三角形をしており瞳孔は縦型のネコ目タイプ。**ヤマカガシ**は、トラ柄を連想させるような黒と赤の市松模様。幼蛇は首の後ろに黄色いバンド模様がある。1970年代頃まで無毒扱いされていたが、とても強い毒を持つ。通常は体長約60cm～120cmくらいだが、大きい物は150cmほどになる。頭はマムシと違い尖っておらず、細めで丸い形状で瞳孔も丸い